



人類に奉仕するロータリー

2016-2017年度 R I 会長

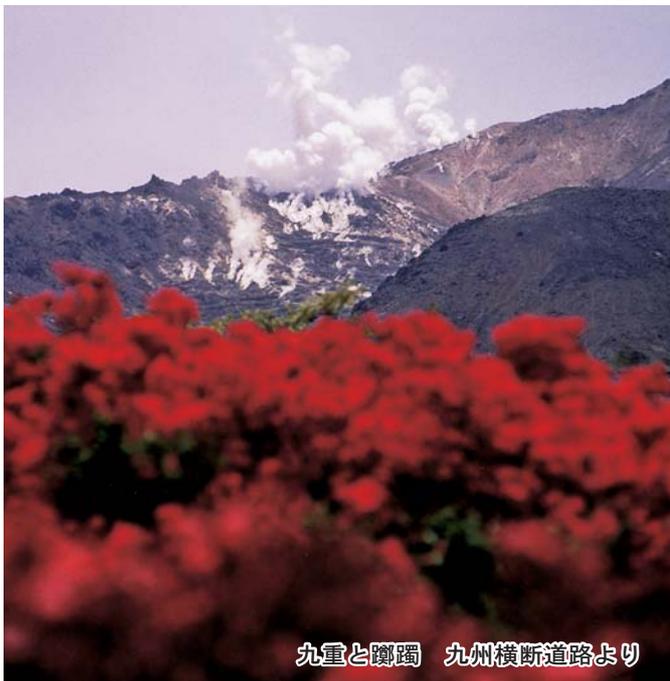
ジョン F. ジャーム

第2720地区ガバナー 前田 眞実
 第2720地区ガバナー-エレクト 永田 壮一
 大分第3グループガバナー補佐 小野 哲夫

第2720地区 大分第3グループ
別府東ロータリークラブ

例会日：毎週木曜日 12時30分
 例会場：別府市観海寺 杉乃井ホテル
 事務所：別府市西野口1番1号
 〒874-0931 (青山通りビル3階)
 TEL (0977) 23-9000
 FAX (0977) 23-9019
 E-mail: info@beppu4rc.jp
 http://www.beppuhigashi-rc.jp/

会長 竹内 孝夫 幹事 一力 秀次
 広報委員長 瑞木 一博



九重と躑躅 九州横断道路より

第1820回例会

VOL. 38—No. 38 2017年4月27日

— 母子の健康月間 —

- 点 鐘 12時30分
- ロータリーソング 君が代・手に手つないで
- 唱 和

四つのテスト
 言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

- ビジター 玉ノ井 溥明 (別府北)
- ゲスト
 砂川 咲季さん (ミス・ユニバースジャパン大分2017 大分代表)
 梅田 佳子さん (MUJ大分実行委員/事務局長)

■ 会長の時間 会長 竹内 孝夫
 本日の例会は、ミスユニバース・ジャパン大分2017大分代表の砂川咲季さんをお招きしています。
 我が社がミスユニバース・ジャパン (MUJ) のスポンサーをしている関係で、彼女たちが受ける2ヶ月間のビューティーキャンプ中に、健康を守る

| ■ 出席報告 | | | |
|------------------------------------|------|---------------|--------------|
| 本 日 | 会員総数 | 40名 | ゲスト 2名 |
| | 出席数 | 19名 | ビジター 1名 |
| | 欠席数 | 12名 | 出席率 61.29% |
| 前々回の出席率 | | 86.47% | 修正出席率 91.89% |
| | | 100% 通算 1578回 | |
| 出席規定免除(b)：岩瀬、樽谷、黒岩、杉本、幸、西、檀上、坂本、箕作 | | | |
| 名 誉 会 員：西村 | | | |
| ■ メイクアップ | | | |
| 事前 荒金 (別府中央)、後藤 (近隣ゴルフ) | | | |
| 事後 (第1818回例会) 瑞木、高橋 (別府中央) | | | |
| ■ 欠 席 | | | |
| 安部、石田、渡辺、笠木、但馬、中塚、岡本、高橋、山下 (唱)、梅津 | | | |

特定保健用食品としてのヤクルト製品（乳酸菌シロタ株）の働き、重要性などの説明をさせていただきました。

■ 幹事報告 幹事 一力 秀次

1. ローターリー適用相場変更のお知らせ

5月1日よりロータリーのすべての振り込みに対する適用相場が、下記とおり変更となりますのでお知らせ致します。

1ドル 110円（現行 116円）

2. 「2017-2018年度地区会員増強セミナー」開催のお知らせ

日 時 平成29年5月27日(土) 12:30~16:30

場 所 熊本学園大学

研修テーマ 「会員増強の現状と長期的戦略」

R I 第2740地区

長崎琴海RC 佐藤 豊氏

出席義務者 次年度会長、次年度幹事、次年度会員増強委員長

※詳細プログラムは後日お知らせします。

3. 第10回臨時理事・役員会報告（平成29年4月21日(金)〈持ち回り〉）

審議事項

1号議案) 新会員（羽田野 徹会員）歓迎会開催の件

日 時 平成29年5月18日(木) 18:30~例会引き続き「歓迎会」

場 所 ホテルサンバリー「まるや」(予定)

会 費 2,000円（食費より2,000円補助）

4. 4月23日(日)9:00集合にて快晴の好天の中、扇山ゴルフ場に於いて「別府市近隣7RC合同親睦ゴルフ大会」を当クラブのホストで開催致しました。当クラブの成績は、下記とおりです。参加会員の皆様ご協力ありがとうございました。

【団 体】第1位：別府RC 第2位：別府東RC
第3位：別府北RC 第4位：杵築RC
第5位：別府中央RC 第6位：日出RC

【個人賞】3位：山下唱徳会員 15位：一力秀次会員
敢闘賞：久保田高史会員

ゴルフ参加：箕作昭宣、幸 光喜、長野勝行、久保田高史、山下唱徳、後藤誠一、一力秀次 各会員

懇親会参加：加藤兼司、幸 光喜、長野勝行、久保田高史、山下唱徳、山下布美代、工藤恵美、一力秀次 各会員

5. 例会変更のお知らせ

○大分RC：5月9日(火)の例会は『夜間例会』の為、同日18:30~大分オアシスタワーホテルに時間・場所変更

○大分城西RC：5月10日(水)の例会は『湯布院RCとの合同例会』の為、5月13日(土)に開催日時・場所変更

○大分臨海RC：5月15日(月)の例会は『定款第8条第1節に基づき 休会』

6. 次週（5月4日）は、法定休日の為「休会」

します。

7. 次々週（5月11日）は、11:45~杉乃井ホテルに於いて「第11回定例理事・役員会」を開催致します。関係の方は、ご出席をお願いします。

8. 次々週（5月11日）の例会予定

「新会員卓話」 中村忠孝会員、羽田野 徹会員

9. 本日の回覧

①「台北昇陽扶輪社との姉妹クラブ締結再調印式」訪問団参加申込み（6月17日~19日）※宿泊ホテルが「アンバサダーホテル」に確定しました。スタンダード58,000円とエグゼクティブ66,000円のどちらかを回覧に✓印してください。

②「新会員（羽田野 徹会員）歓迎会」出・欠席（5月18日）

③中津、中津中央 各RC週報

④別府市自衛隊協力会より広報誌「扇山」

10. 本日の配布

①週報No. 1819

■ お 祝 い

会員誕生日 長野 勝行会員（5月1日）

夫人誕生日 加藤 淳子さん（5月5日）

*ご自宅にお花とお菓子をお届けします。

結婚記念日 永嶋 政人会員（4月28日）

山下 唱徳会員（4月29日）

*ご自宅に特選豊後牛肉をお届けします。

■ ニコボックス 委員長 山下布美代

○加藤兼司会員 23日、別府市近隣7RCゴルフ大会が46名参加の下、好天に恵まれ無事に終了しました。有難うございました。実行委員長として3口。又、団体2位に入りました各会員の健闘を称え一力、後藤、長野、箕作、幸、山下(唱)、久保田会員1口ずつお願いします。竹内会長3口。

○ゴルフ表彰式、懇親会において長野会員、山下(唱)会員がコンパニオンをひざに乗せていました。各3口ずつ。

○榊田 浩会員 4月5日、新会社を設立しました。名前は「チャンス・ミカド」(チャンスはフランス語で幸運という意味です)。その会社で大分駅裏(金池南)にて、賃貸マンションを設けています。本日、火売神社、加藤宮司により起工式を無事執り行いました。加藤宮司、ありがとうございました。5口。加藤会員3口。

○尾方会員、君はどうして砂川さんの真ん前に座っているのかな？普通そういう上席はベテランに譲るのではないか。ペナルティー2口。榊田さん、楽しそうですね、1口。竹内会長、“スナカワ”さんではなくて“スナガワ”さんです。1口。

○工藤晴生会員 先日、熊本に先輩方の運転手として参加させて頂きました。とても楽しいひとときを過ごさせて頂きました。勉強になりました。3口。

【別府市近隣7RC合同親睦ゴルフ大会】

とき：2017年4月23日(日) ところ：扇山ゴルフ場



【団体】第2位
別府東RC



【個人賞】第3位
山下唱徳会員



後藤会員、幸会員、箕作会員、一力幹事



久保田次期幹事、長野次期会長、山下(唱)会員

ミス・ユニバースジャパン大分2017 大分代表卓話

ミス・ユニバースジャパン大分2017 大分代表 砂川 咲季さん

皆さま、こんにちは。ミス・ユニバース大分代表の砂川咲季です。

この度はご招待いただき、そして皆様の前でお話をさせていただけるということで大変光栄です。ありがとうございます。

実は、このような形で私自身のことについてお話しする機会は初めてのことなので、とても緊張しております。そして、まだまだ未熟者の私ですので至らない点多々あるとは思いますが、最後まで温かく見守っていただけると幸いです。

改めまして、本日はどうぞ宜しくお願い致します。

早速ですが、皆さま“ミス・ユニバース”とは何かご存知ですか？

ミス・ユニバースとは、毎年世界各国の都市で大会が開催され、世界80カ国以上の代表が参加して世界一の栄冠を競い合う「美の祭典」と言われています。この大会では、乳がん早期発見・予防促進活動、エイズストップ基金などを通じて、社会奉仕活動へ参加するなど、外面的な美しさだけでなく、知性、感性、誠実さ、人間性といった内面の輝き、社会に積極的に貢献したいという社会性を兼ね備えた“オピニオンリーダー”の創造・サポートをコン

セプトにしています。その世界大会の予選として各国で地方大会を勝ち抜いた参加者の中から、国の代表が決定します。

今日は、私が参加しウィナーになったミス・ユニバース大分大会や、大会前に行われた2ヵ月間のビューティーキャンプと呼ばれるトレーニング内容を中心にお話しさせていただくのはもちろんなのですが、折角このような機会をいただいたからには私自身について…これまでの経験やそれらを踏まえての考え方、そして今後の目指すところや将来の方向性などをもお伝えできたらいいなと考えています。

まず初めに、簡単に私の自己紹介をさせていただきます。

私は現在、別府市の立命館アジア太平洋大学に通う大学3年生です。大学では国際経営学部にも所属し、マーケティングを専攻しております。

出身は沖縄県で、大学進学を機に大分に移り住むこととなりました。早いもので、大分で暮らしてあっという間に3年経ったのですが、3年前に大分に来た時の印象と感動というのは今でも鮮明に覚えています。高速バスで揺られながら別府市の町中を

走っていると、窓からは至る所から湯けむりが上がっているのが見えて、バスの中まで温泉の硫黄のにおいがしていたことにとっても驚いたと同時に、温泉県大分での生活がいよいよ始まるんだなど、とてもワクワクしました。

大学生活が始まると、都心の大学生の「今日どこかに飲みに行く？ ご飯行く？」みたいな感覚で、ここ大分では（特に別府では）「今日温泉行く？」という会話が日常的に交わされているので、最初の頃はちょっとしたカルチャーショックでもあったのですが、今では友人たちとのコミュニケーションの場としても温泉を楽しみながら、大分、別府ならではの大学生活を満喫しています。

私にとってのもう一つの大分の魅力な点といえば、ご飯がとてもおいしいところです！ 実は、私は食事が幼少期からの趣味、特技でして、美味しいものを食べている時に一番喜びと生きがい、幸せを感じます。なので、週末には海の幸や山の幸、新鮮な食材を使った大分ならではの美味しい食事を求めて、グルメツアーに出掛けるのも大分での生活の醍醐味だなと感じて楽しんでます。

わずか3年の大分生活ですが、大分の魅力、大好きなところについてはまだまだ語り尽くせないくらい熱い思いがあります。大分に住んでからというもの、沢山の素敵なところを日々発見しているので、大分県の代表として日本大会に出場できることをとても誇りに思いますし、日本全国、世界にその魅力をアピールするために必ずやミス・ユニバース日本代表になりたいと思います。

今回、私がミス・ユニバース日本代表を目指そうと思ったきっかけ、大分大会に出場しようと思った経緯なのですが、一番根底にあるのは「世界を舞台に活躍し、貢献できる女性になりたい」という幼いころからの夢と想いです。

私は5歳の頃から英語を習っており、小学校1年生から6年生までの6年間、毎年5分程度の英語の童話やストーリーを覚えて、スピーチコンテストに出場していました。

大勢の観客、審査員の目の前で手足を震わせながら、あまりの緊張に泣きだしそうになりながらも、暗記したスピーチの記憶だけは飛ばさないよう、毎年必死で大きな舞台に立っていました。そのスピーチコンテストでは、本選大会に出場するための予選審査はもちろん、本選では各学年でTOP3の順位が決められるという幼い小学生にとってはかなり過酷な現実には毎年直面することとなりました。

私は本選大会には常連の顔ではあったものの、なかなか予選を勝ち抜いたライバルたちのレベルの高さには及ばず、小学校4年生までは一度も入賞すらできない状況が続いていました。しかし、そこで「また無理かもしれない…」と再び挑戦することを恐れるのではなく、諦めるのではなく、「今回こそ何が何でも絶対入賞する！」という強い想いを抱き、

過去の4年間の悔しい思いがあったからこそ身に付いた負けず嫌いの根性を大いに発揮し、5年目、そして最後の年まで出場し続けました。

その結果、大会出場歴5年目にしてついに準優勝、銀メダルを獲得しました。そして最終的には最後の大会出場の年である6年生にして、悲願の優勝を果たすことができました。

その時の感動と長年の夢が努力によって叶ったという経験、目標を達成したときの快感が忘れられず、中学、高校進学後も何事においてもライバルや目標を設定し、常に“1位、トップ”にこだわることになりました。

こうした経験を経て、将来は英語力を活かし、世界を相手に戦えるような国際的な人になりたいと漠然と思うようになりました。そして、世界80カ国以上もの国や地域から学生が集まるAPUに入学し、地球の縮図のようなグローバルな環境の下で学ぶことによって、世界レベルのコミュニケーション力や価値観、意識や行動力を身に付けようと日々多くのことを吸収できるよう奮闘中です。

こうした意識を持ってAPUでの学生生活を送る中で、昨年の4月、私の人生を変えたと言っても過言ではない、運命の出会いがありました。それは先ほど私を紹介してくれた2016ミス・ユニバース大分代表の飯田葉月さんとの出会いです。私と彼女は同じ国際経営学部在籍しており同学年であるため、3回生の4月から始まるゼミが同じになり、授業やゼミメンバーでの食事会などを重ねていく中で親しくなっていました。

飯田さんがミス・ユニバース大分代表ということはAPUの学内でも有名だったので、ミス・ユニバースという大会の存在自体は飯田さんを通して知っていましたが、その大会の目的や内容などの詳しいことは全く知らず、最初は興味すらありませんでした。

しかし飯田さんと話す中で、大分大会のファイナリストとして選ばれると、2ヵ月間のビューティーキャンプという、外見の美しさだけでなく、内面にも磨きをかけられる特殊なトレーニングが無料で受けられること、そして最終的に地方大会を勝ち抜き日本代表になれば、世界大会に出場できるなどという概要を教えてもらい、そこから徐々に興味を持つようになりました。

何事に対しても好奇心、チャレンジ精神が旺盛な私は、ファイナリストにさえなれば“無料で”沢山のことを学べ、成長できる環境を提供してもらえるという部分にすぐに惹かれたのですが、一呼吸おいてよく考えてみると、ミス・コンテストなので顔もスタイルも完ぺきなモデルさんのような方々ばかりが出場する大会なのだろうというイメージが強く、ただ身長が高いだけの私なんて場違いになってしまうなと思っていました。

また、私の目標とする世界を目指すチャンスではあるものの、ミス・コンテストという“美しさ”を競う大会ということで、今までの私の勝負の臨み方、

つまり努力や根性という部分だけでトップを目指せるフィールドではないなど考えました。

この大会への出場を薦めてくれていた飯田さんに正直にそのことを伝えると、「結果はどうであれ、挑戦してみることに大きな意味があると思うし、人として自分が大きく成長できる最高の機会だよ」という風に言ってくれました。

こうしてアドバイスをもらったことによって、「ビューティーキャンプで沢山のことが学べて、大学生活の思い出の1つとして楽しめたらいいか!」という軽い気持ちで挑戦してみることになりました。

そして10月2日のセミファイナルで希望通りファイナリストとして選ばれ、大分大会ファイナルの11月21日までの2ヵ月弱のビューティーキャンプ(トレーニング)が本格的に始まったのです。

平日は授業の後、主に大分市中心部で開催されるトレーニング会場まで足早に向かい、土日は講義の3本立てやイベント出演などで、一日中ファイナリストとしての意識を持ち行動するという、ミス・ユニバース一色の毎日を送ることとなりました。

具体的にどのようなトレーニングを受けたかという点、外見の面ではウォーキングやポージング、美しい立ち振る舞いを学ぶ講義、そしてプロの美容師によるヘアメイク講座、セルフプロデュース力を高めるための骨格診断やファッションアドバイスなど。

内面を磨くトレーニングでは大分の歴史や地域学、美術史、温泉について学ぶ講義に加え、栄養学や乳酸菌学、そしてメンタルトレーニングや今後の人生設計を考えるライブプランニングなどもあり、内容も講師の方々も多岐の分野に亘る予想以上に充実したものでした。

このビューティーキャンプ期間中というのは学業との両立に加え、身体づくりや栄養面の管理も全て同時並行で取り組まなければならなかったため、精神的、スケジュール的には正直とても大変な部分が多々ありました。しかし、この大会に挑戦した動機が、人として、女性として、沢山のことを吸収しながら成長することだった私にとっては、1つひとつの講義の内容がとても興味深く、毎日が刺激的で充実感で満たされていました。

一方で、日々のトレーニングをこなしていく中で、ライバルでもある他のファイナリストたちの見た目や顔つき、スタイルの変化を目の当たりにし、私も負けてられないと徐々にモチベーションに火が付きました。そして、本番に近づくにつれて、講義をして下さる講師の方々の熱意も増し、SNSを通してトレーニングの様子などを報告し更新していくようになると、それを見た友人や家族の応援や期待も日に日に高まってきました。

こうして周囲の影響を大きく受けながら、最初は楽しもうという気持ちで臨んだこの大会だったのですが、ライバルを意識し始めるようになり、負けず嫌いな性格が大いに発揮され、毎日のビューティーキャンプに臨む姿勢や、やる気にも大きな変化が

出てきました。

しかし、大会3週間ほど前に事務局の梅田さんとウォーキング講師である峯さんと三者面談をした際に、「砂川さんはまだまだ中途半端。今のままでウィナーになれると思う? もしなかったとしても1年間ウィナーとしての責任や役割をしっかりと果たせるの?」と厳しいお言葉をいただきました。

その時に、今までは楽しみながら頑張ろうという気持ちでこの大会に臨んでいた自分の意識の甘さや、大分代表になるということの責任の重さを改めて実感しました。

そして、ファイナリストという立場で2ヵ月間のトレーニングという限定的な期間だからこそ、普段あまりしなかったヘアやメイク、姿勢やウォーキングも意識し、緊張感を保っているものの、もし大分代表に選ばれ日本大会への出場、そして1年間の任期が決まってしまうと私はその責任の大きさとプレッシャーに耐えられる自信がない。今の時点で大分代表を目指すことを辞め、このビューティーキャンプが終わったら、また普通の学生生活に戻ったほうが良いのではないかと本気で悩みました。しかし悩めば悩むほど私の性格上、やはり一度定めた目標は中途半端に投げ出せない、やるからには全力でやり遂げる。そして必ず1位になるという想いが強くなっていることに気が付きました。

それからは大分代表になるという責任を背負う覚悟ができたのはもちろん、選ばれるからには絶対に世界を目指すという固い決意を胸に、トレーニングにもそれまで以上に励みました。

その結果、大会本番ではこれまでで最高のパフォーマンスを披露することができ、私自身を最大限に表現できた成果が大分代表という夢実現へとつながりました。

こうして代表になった今、ビューティーキャンプの2ヵ月を振り返ってみると、様々な葛藤や迷い、そして決断がありました。

それら1つひとつを乗り越えていく過程において、私の傍らには常に切磋琢磨し合ったファイナリストの仲間、期待してくれる家族や友人の応援、サポートして下さるスポンサー企業様、大会を運営して下さった事務局の方々の存在がありました。



竹内会長と砂川咲季さん

沢山の方々の想いや期待、そしてこの大分県を背負っているからこそ、今回お話しさせていただいた初心と、応援して下さいるすべての方への感謝の気持ちを忘れずに、今後も世界を見据え、突き進んで参ります。

日本大会は7月に東京で開催される予定です。それまでに私はさらに自分自身を磨き上げるためにトレーニングを続けていきます。

これまでの経験により、美しさとはやはり健康であるということ、健康であるための食事の大事さ、健康的に美しくあるためには体幹を鍛えて、適度な筋肉をつけることも必須であるということ、顔やスタイルだけではなく、手先足先への配慮、表情の大切さ、など日常生活でいかに意識を変え、積み重ねていくことが大事なのかということをしかり体に覚えさせることができました。

1日や2日でヘアメイクをきれいにしたところで、それだけで美しいとはいえません。美しい表情や丁寧な所作、継続的に自分の在り方を考え、人との接し方が誠実であることを意識して続けていくことこそ、大切なことだと気づきました。

今後、私は単なる大学生ではなく、このような場でお話しさせていただけるような公に活動できる権利を得ることができた、という意識をもって、まずは自分が学んで実践している日常のささいなことから、自分自身を通して発信していきたいと思えます。

「人は意識すれば変わる」

まずは日本大会で全力で戦ってまいります。ここで出会ったご縁にぜひ応援をお願いいたします。またひとつ新しい世界に一步踏み入れることに感謝

して進んでいきます。

以上です。私のつたない経験談をお話しさせていただきましたが、最後までご清聴いただき、本当にありがとうございました。

乳酸菌がなぜ必要か？

ヤクルト400の特徴

①生きてまま腸内に到達する
強化培養された乳酸菌シロタ株は、胃酸や胆汁などの強い消化液に耐えて生きてまま腸内に到達します。

②良い菌を増やし、悪い菌を減らす
乳酸菌シロタ株を飲用したところ、飲用前に比べ飲用中にビフィズス菌が増加し、大腸菌が減少しました。

③腸内環境を改善する
乳酸菌シロタ株腸内の良い菌を増やし悪い菌が作る物質の生成を抑え、おなかの調子を整えます。

特定保健用食品とは？

特定保健用食品のマークは、おなかの調子を整え、血圧や血糖値を正常に保つことを助けたりするなどの「保健の用途」のために利用される食品で、有効性、安全性、品質にかかわる科学的根拠について個別の審査を経て、厚生労働省から表示許可を受ける必要があります。

トクホのマーク

ミルミルSの特徴

①大腸で働く生きている菌
ミルミルSに入っているビフィズス菌は大腸で働くので、ビフィズス菌の不足する大人にオススメです。

②不足しがちな栄養素も補給
カルシウム・鉄・ビタミンB6・ビタミンB12・ビタミンE・葉酸・コラーゲン、ビタミンなどの女性のため不足する栄養素をお手軽に、食物繊維もとれるので、排便リズムの改善にも

生きて腸まで届くのは、ヤクルトだけ！

他社との違いを知っている方はどのくらいいるでしょうか。
80年以上にわたり「予防医学」「健康長寿」「誰もがたて入れられる価格」貴いきたヤクルトの歴史と品質があります。
アムに乗ったものではなく、お客様の健康維持のために、プロバイオティクスの先駆けを行く「代田イヌム」の信念に乗り取り、他社の加熱殺菌されている商品では、乳酸菌を届けるむずかしさがあります。「生きて腸まで届く」信じられるのは、ヤクルトです。

「おなかの中」から強くなろう!!

乳酸菌 シロタ株のさまざまな働き

「かからない」ために大切なことは、栄養素の吸収や免疫の働きを担う「腸」を日々、鍛えることです。そのための「良い習慣=乳酸菌 シロタ株」をこれからもぜひ続けていきましょう。

ヤクルト中央研究所NEWS

その① 低くなったNK活性を上昇させます!

免疫細胞のひとつ、NK細胞は、病原体やウイルス感染細胞、さらには体内で発生するがん細胞を見つけ破壊してくれます。

「乳酸菌 シロタ株」飲用によるNK活性の上昇

加齢、ストレス、生活習慣の乱れなどがNK活性を低下させる原因となります。

NK細胞の攻撃により死滅するがん細胞の様子

「乳酸菌 シロタ株」を飲用することにより、NK活性の上昇が認められました。

加齢やストレスによるNK活性の低下を防いで、すこやかな毎日を送りましょう!

その② 「乳酸菌 シロタ株」は腸内の環境を改善します!

おなかの中の悪い菌は、生活習慣の乱れなどちょっとしたことが原因で増えます。

そこで、「乳酸菌 シロタ株」!

「乳酸菌 シロタ株」には、悪い菌を減らす働きがあります。

何事も毎日の積み重ねが大事です!!

乳酸菌 シロタ株のさまざまな働き

ヤクルト中央研究所NEWS

毎日摂ることが大切

右のグラフは、「乳酸菌 シロタ株」を毎日飲んだ時と飲むのをやめた時の菌数の変化を調べたものです。毎日飲むと腸内の「乳酸菌 シロタ株」が一定に保たれていますが、飲むのをやめると1~2週間でおなかからいなくなってしまう。

腸の調子を保つために「乳酸菌 シロタ株」を毎日継続して摂ることが大切です。

「乳酸菌 シロタ株」を含む飲料の飲用と乳酸菌の消長

世界で活躍する「乳酸菌 シロタ株」

インド東部に住む、約4,000人の急性下痢症にかかるリスクの高い子ども(1~5歳)を対象に、「乳酸菌 シロタ株」の飲用試験を実施しました。その結果、「乳酸菌 シロタ株(65億個)」を含む飲料を飲んだグループでは、プラセボを飲んだグループに比べて下痢の発症率が14%低くなりました。

下痢の発症と「乳酸菌 シロタ株」の予防効果

| | |
|----------|-------|
| 乳酸菌 シロタ株 | 0.88 |
| プラセボ(対) | 1.029 |

1年間の1人あたりの下痢発症率を計算すると、「乳酸菌 シロタ株」を含む飲料を飲んだグループでは、プラセボを飲んだグループでは1.029分になりました。

「乳酸菌 シロタ株」は、日本だけでなく世界32の国と地域で飲用されており、世界で活躍しています。

これからも、毎日「乳酸菌 シロタ株」を継続しておなかにとどけてください。